



第25号(平成18年9月発行) 東海ノア協定事務局 (原子力機構・原子力科学研究所内)

> Telephone: 029-282-5801 E-mail: t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第25号 をお届けします。

東海ノアでは「平成18年度年間基本活動計画」に基づく活動を展開しております。東海ノア通信では、東海ノアの日頃の活動を紹介するとともに、協定の目的の一つでもある情報の共有化を積極的に進めており、加盟事業所の協力のもと、活動の見直し・推進に向けて積極的に取り組んで参りたいと考えております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適宜、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、http://tnoah.tokai-sc.jaea.go.jp/ です。

トピックス

活動状況

- ・ 活動推進幹事会の開催
- 安全協力委員会の開催
- ・自主保安に関する点検協力活動
- ・安全教育に関する協力活動
- ・ 情報交換に関する協力活動
- ・緊急時に対応するための協力活動

加盟事業所からの事業所紹介

今後の活動予定

東海 NOAH:

東海村(東海) 那珂市(N) 大洗町(O) 旧旭村(A)…現鉾田市、ひたちなか市(H)

活動状況

活動推進幹事会の開催(平成18年5月18日)

第34回活動推進幹事会が、5月18日(木)に原子力機構東海研究開発センター原子力科学研究所において開催されました。

主な議題は、次のとおりです。

- (1)平成18年度 第1回自主保安点検協力活動の実施について
- (2)平成18年度 東海ノア通報訓練の実施について
- (3)平成18年度 茨城県通報連絡訓練における東海ノアの対応 について
- (4)東海ノア通信第24号の発行について



第15回 安全協力委員会の開催

今年度第1回安全協力委員会は、10月4日(水)に開催を予定しております。

自主保安に関する協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、原子炉主任技術者、放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者、衛生管理者、防火管理者等の実務経験のある専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、事業所の安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

平成18年度 第1回自主保安に係る点検協力活動

(1)実施日 7月26日(水)

(2)事業所名 原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

(3)点検協力者 3名

・原子炉主任技術者(所属:東京大学大学院工学系

研究科原子力専攻)

· 衛生管理者 (所属:三菱原子燃料株式会社)

・防火管理者 (所属:第一化学薬品株式会社)

薬物動態研究所)

(4)点検項目 安全管理

規定規則等

教育訓練

水平展開

緊急時の対応

現場の巡視確認

平成18年度 第2回自主保安に係る点検協力活動

第 2 回目の点検協力活動は、原子力機構 東海研究開発センター 核燃料サイクル工学研究所を対象に、11月に実施を予定しております。

点検協力活動の詳細については、次号にて紹介いたします。

安全教育に関する協力活動

安全講演会が原子力機構において開催され、加盟事業所の社員が参加しました。

(1)安全講演会「事故の失敗から学ぶ ~安全への企業風土~」

・開催日:5月26日(金)

・講 師:関口 雅夫氏 (㈱JR 東日本パーソナルサービス HRD

事業本部 参与)



アトムワールド講堂で 行われた講演会の様子

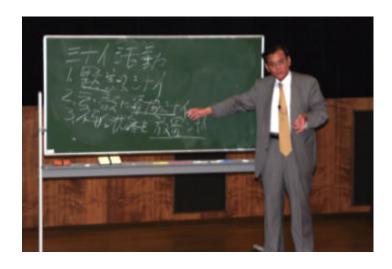
4事業所 10名参加

(写真提供:核燃料サイクル 工学研究所)

(2)安全講演会「ヒューマンエラーと安全文化」

・開催日:7月5日(水)

・講 師:中村 昌弘氏(災害予防研究所 所長)



アトムワールド講堂で 行われた講演会の様子

5事業所 5名参加

(写真提供:核燃料サイクル 工学研究所)

情報交換に関する協力活動

トラブル情報の交換

・原子力機構 大洗研究開発センター 高温工学試験研究炉(HTTR)機械棟における火災発生について (7月16日プレス発表)

緊急時に対応するための協力活動

通報連絡訓練の実施

(1)東海ノア通報連絡訓練の実施

5月31日(水)に、日本原子力発電株式会社 東海・東海第二 発電所を想定発災事業所とした通報連絡訓練を行いました。

訓練には加盟19事業所の協力活動本部員を含め84名が参加 し、東海ノア協定に基づく通報連絡系統に従い正しく通報が行われ たことが確認されました。

(2)茨城県通報連絡訓練

茨城県通報連絡訓練が6月9日(金)から開始され、8月10日(木) に対象事業所すべての訓練が終了しました。

訓練では、今年度も4回東海ノアへの通報(協力要請)があり、訓練毎に加盟事業所他への通報連絡を行いました。

協力要請を行った事業所は、次のとおりです。

・ニュークリア・デベロップメント株式会社 (6月 9日) ・日本核燃料開発株式会社 (6月26日) ・東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー (8月 1日) 材料科学国際研究センター ・東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 (8月10日)

加盟事業所からの事業所紹介

『当社の活動状況について』

ニュークリア・デベロップメント(株)(略称NDC)

当社は三菱重工業(株)高砂研究所東海試験場と三菱原子力工業(株)原子力開発センター東海研究所の業務を受け継いで平成 2 年 4 月に設立され、原子力発電所及び原子力関連施設で使用される原子燃料、原子炉構成材料、化学、放射線等の分野において、安全性・信頼性及び性能の向上を目指した各種試験研究並びに実証研究を行っています。

東海ノア通信第5号で当社の安全活動状況について紹介させて頂きましたが、本号では最近の活動状況のうち、環境活動、安全活動の一端をご紹介します。

1.環境活動(EA-21)

当社では ISO-14000 規格に定められている要求事項を参考として、 平成 14 年度から自主的な環境活動を展開してきましたが、あらためて 平成 16 年度に公的認証の取得準備を始め、平成 17 年 5 月に環境省の 主催する環境マネジメントシステムである「エコアクション 2 1 (略称 EA-21)」の認証を取得いたしました。この規格は主として中小事業者 の環境活動向けに開発されたもので、世界標準規格ともいえる ISO14000 に比べると、要求事項は幾分か緩やかなものになっています。 しかし、一方で ISO14000 では義務付けていない環境活動レポートの 公開を認証条件とするなど、ISO14000 よりも地域に根ざした規格になっているともいえます。

現在、3年目の活動に入ったところですが、まだ、いわゆる「紙、水、電気、ごみ」レベルの環境目標が活動の主体となっています。まずは身の回りから資源の無駄使いを排除し、使えるものはリサイクルするとい

うシステムと意識の定着を目指しているところです。

この 5 月に EA - 21 審査人による初回中間審査を受け、「社業を通じた環境への貢献の取組み」をご助言いただいています。当社のほとんどの事業は「原子力の安全かつ円滑な操業」を目的とした調査・研究・開発に結びついていますので、「取組み」は「原子力の環境への貢献」をより確実にする、あるいは社会のご理解を深めることであろうと考え、本来業務の着実な推進と、当社ホームページ等を通した地道な P R 活動を進めていく所存です。



エコアクション21中間審査オープニング会議

2. 危険予知活動(KYK)

当社では安全活動の一環として危険予知活動(KYKと略称)を推進しています。当社業務の主体は調査・研究・開発業務であるため、常に新しい試験が計画され、試験装置の新設や新試験が多いという特徴があります。

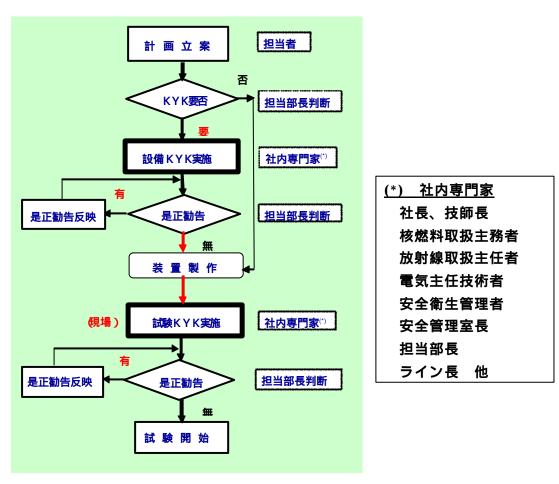
試験・研究などの非定常業務を安全に実施するため、以前から「KYK」を実施してきていましたが、数年前から「KYK」の仕組みを「設備KYK」と「試験KYK」に区分し、さらに試験担当部門内の活動であったものから、社会的及び法規上の観点も加えた全社的な検証を行う

ように手法を改良してきています。

新たな試験が計画され、導入設備の新規性や法規上の観点から専門家の意見を求める必要があると判断された場合に「設備KYK」が行われます。新規装置の設計に反映できる時期に設備KYK会議を開催し、指摘があった事項を装置設計等に反映させます。

新規装置の完成後、または新規性の有る試験を実施する場合に「試験 KYK」会議を開催します。設備KYKで指摘された事項への対応措置 を確認し、新規試験手順の安全性や取扱性などを検証するために行います。

「設備KYK」「試験KYK」とも、指摘された事項に対する是正措置が完了したと認められない限り、次のステップには進めないシステムにしています。



危険予知活動のシステム

なお、当社のホームページ(http://www.ndc-tokai.co.jp) に会社概要、社方針・社員行動指針、事業紹介、安全への取組み(保安品質保証活動、原子力事業者防災計画、環境放射線監視データ等)、環境への取組み(環境方針、EA21認証取得、環境活動レポート)、トピックス等を掲載しています。

以上

今後の活動予定

•	第1	5	回	安全	協	力委	員	会	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	0月
•	平成	1	8	年度	第	2 🗖	自自	主化	呆安	:Iこ	係	る	点	検	協	力	活	動	•	•	•	•	•	1	1月
•	平成	1	8 :	年度	第	1 垣	安	全教	效育	研	修	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1月
•	第3	6	回	活動	加推证	佳幹	事	会		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1月

編集後記

東海ノアの活動につきましては、日頃より加盟事業所皆様方のご理 解・ご協力をいただき感謝いたしております。

本年度3事業所が予定されている自主保安点検協力活動は、7月に原子力科学研究所が終了しました。11月以降2事業所を実施することにより、すべての加盟事業所が実施されることとなります。

事務局では、これまでの活動を振り返り、自主保安点検協力活動をは じめとした活動について、加盟事業所のご協力を頂きながら見直しを図 っていきたいと考えております。

東海ノアに関するご意見、ご要望等がございましたら、事務局までお 寄せください。

(東海ノア協定事務局)